



誠・力・光

令和3年6月11日
練馬区立北町中学校
学校だより 6月号

新たな社会を創る

校長 中嶋 雅彦

6月9日、給食用牛乳パックのリサイクルで作られたトイレットペーパーが各学級に配布され、日頃の取り組みの成果を子どもたちとともに確認することができました。このトイレットペーパーはリサイクルを行っている事業者から、練馬区の各学校へ送られたものです。毎日、給食の片づけや昼休みの時間を使って、牛乳パックリサイクル活動を行ってくれた協力への感謝の贈り物です。給食用牛乳パック約20枚で1ロールのトイレットペーパーができ、また、給食用牛乳パック約3枚で、エアコン1時間分に相当するCO₂が削減できます。あらためて、生徒一人一人の小さな取り組みが、日々積み重なることにより大きな目標へとつながっていくという大切さを感じます。

現在世界的な規模で、さまざまな問題や限界に直面しています。これらの問題に向き合うために国連は2015年に「持続可能な開発目標」SDGsを打ち出しました。SDGsには2030年までに達成すべき17個の目標があります。これらは世界を将来にわたって持続させるための目標です。まさしく今の中学生が将来生きていく社会での世界規模の課題といえます。

今月、1年生の国語の授業ではアフガニスタン等の多くの市民とともに人道、復興支援の歩みを進めた医師である中村哲さんを題材にSDGsに触れながら授業を行います、本校では、このように将来子どもたちが直面する環境や、社会について対応する力をすべての教科、領域において育てています。本年度から、実施されている新学習指導要領では、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を三つに統一しました。その一つに「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）」があります。日々の学校生活の中で、この資質・能力に着目しながらあらゆる場面を活用し、子どもたちを成長させたいと考えています。

先日、1カ月遅れの生徒総会が行われました。5月の初旬に行われる予定でした。学年を超えた活動が制限され専門委員会や中央委員会を各教室からウェブ会議システムで行うなどの準備期間が必要であったためです。生徒は新たな環境でも工夫をしながら生徒総会の準備を行ってくれました。生徒総会は、自らの力で、自らの課題を解決していくための取り組みです。感染症予防のための延期などがあっても、全校生徒が一つになり取り組むことの意義を感じさせてくれた生徒総会でした。先程のSDGsの計画書の冒頭には、「我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、誰一人取り残さないことを誓う。」とあります。本校でも、学校にいるすべてのものを合わせ、誰一人取り残すことなくあらゆる教育活動を推進していきます。

行事等の日程や内容の変更があっても、その活動の意義を最大限に活用し、保護者、地域の皆様とともに本校生徒をよりよく成長させていきます。今後も北町中生に対し温かなご支援を賜りますようお願い申し上げます。

生徒総会より 学級目標発表

6月5日(土)3・4校時は生徒総会を開催いたしました。緊急事態宣言が発令しているため、教室にてオンラインによるものです。教室では、発表者の発言を静かに聞き、承認のときには拍手をしっかりと行っていました。

後半は、初めての試みで全学年全クラスの学級目標の発表を行いました。単に、目標を伝えるだけでなく、どんなクラスにしてどのように頑張っていくのかを学年委員が発表しました。さすが、学年委員です。どのクラスの発表も素晴らしく、更に3年生は先輩としての姿を1・2年生に示していました。

他学年の目標を見ることは普段できないので、1年生にとってはとても刺激になったのではないのでしょうか。どのクラスも最高のクラスを作り、最適に過ごせるよう一人一人が責任と自覚をもって行動していきましょう。



3年1組



3年2組



3年3組



3年4組



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



貧困や飢餓、環境問題など世界には簡単には解決できない問題が山ほどあって、もはや自分の国だけでは解決できません。国家間でも自国の利益だけを優先すれば摩擦が起きます。戦争にもつながります。そうならないよう共通の17の目標を定め、解決の道を探ります。

中学校でもSDGsが今年度から学習内容に加わりました。図書室には、SDGsのコーナーがあります。皆さん、知っていましたか？最近、新聞や雑誌にもよく取り上げられています。また、北町中には各教室に毎日、新聞が届けられています。

現代はデジタル化が進み、新聞離れが顕著になってきました。しかし、紙の良さも知ってほしいです。新聞は一枚一枚めくるたびに、興味に関係無く、たくさんの情報が入手できる良さがあります。

SDGsをどう実現するかという、正解が見つからない問いをじっくりと考えてみましょう。昨年度は、入試の面接でも取り上げられています。日頃から考えている人にとっては、慌てることはないですね。逆に、即席では答えられません。